

## “経理担当者の考える力アップのための講座” 『経理ベーシックスキル養成講座 (ベーシックコース Part2)』のご案内

主催: 有限責任監査法人トーマツ

会計基準の改定や新会計基準の導入、決算の早期化、内部統制の強化など、年々経理担当者の業務は複雑かつ高度になっています。

本講座は、上場企業や上場準備企業の経理担当者様が会計基準の本質に立ち返り、考える力の向上を目的としており、決算業務を遂行するためのポイントを体系的に習得できる講座を、関連項目ごとにご用意いたしました。

### ベーシックコース (Part2) テーマ及び概要

テーマ / 概要	大阪会場
<b>退職給付会計の基礎</b>	
退職給付に係る会計基準に示されている「退職給付金の会計」の全体概要を解説いたします。退職給付会計の一般的な流れに沿い、退職給付会計の基本的事項をワークショップを通して学習します。	8月26日(水)
<b>金銭債権の評価と貸倒引当金の基礎</b>	
金融商品に関する会計基準の中で記されている「金銭債権の評価と貸倒引当金」の全体概要を解説いたします。「金銭債権の区分」及び「貸倒引当金の算定」について基礎事項をワークショップを通して学習します。	9月2日(水)
<b>有価証券の評価と減損処理の基礎</b>	
金融商品に関する会計基準で示されている「有価証券の評価と減損」の全体概要を解説いたします。特に「保有目的別の有価証券の取り扱い及び評価」および「有価証券の減損処理」について基礎事項をワークショップを通して学習します。	9月9日(水)
<b>連結決算の基礎</b>	
連結の範囲、連結決算の手順の全体概要をご説明いたします。「連結修正の仕方」を中心に基礎的事項をワークショップを通して学習します。	9月16日(水)
<b>キャッシュ・フロー計算書作成の基礎</b>	
キャッシュ・フロー計算書の意義、読み方および作成方法の基礎を解説いたします。キャッシュ・フロー計算書における「キャッシュ」の定義(範囲)を確認した上で、表示区分、間接法 or 直接法の違い、間接法によるキャッシュ・フロー計算書の作成方法を、ワークショップを通して学習します。また、精算表の活用についても紹介いたします。	9月30日(水)

プログラムの内容が一部変更となる場合がございます。予めご了承ください。

ベーシックコース (Part1) 6 テーマの開催は終了いたしました。

## 1 本講座のねらいと対象者

「決算の早期化」や「内部統制の強化」など、年々経理担当者の業務は複雑かつ高度になっています。

本講座では上場企業の経理担当者が、「より早く、より正確に」決算業務を遂行するためのポイントを各テーマで体系的に解説いたします。

講義では、理解を容易にするために、図解中心のテキストを用意しております。

また、座学で終わらないために、実践的なテーマをもとにしたワークショップも設けています。

経験年数を問わず、上場企業及び上場準備企業の経理担当者の皆様が、本講座にご参加されるのを心よりお待ちしております。

### 本講座のねらい

個別決算書、連結財務諸表の基本作成力の習得

- ① 上場企業の経理業務の理解
- ② 決算処理のポイント理解
- ③ 内部統制(J-SOX)への対応

### 本講座の対象者

決算担当者、経理担当者

- ① 新興市場の公開企業
- ② 上場準備企業
- ③ 上場企業の経理担当者

## 本講座の進め方

本講座は座学だけではなく、ワークショップを多く取り入れた実践的な内容です。

始めに講師より講座のポイントをお伝えし、内容を理解して頂きます。

そして受講者の皆様同士でワークショップを行い、理解を深めて頂きます。

最後に講師より詳細の解説を行います。

### 講座の進め方

講義 + ワークショップ形式

- ① 講師によるテーマの解説
- ② ワークショップ形式でケーススタディ

## 参考 ワークショップのフロー



時間 各日 13:30 ~ 16:30  
対象者 上場・上場準備企業の経営担当者  
定員 40名  
受講料 1テーマ1名様あたり 10,000円(税込) (1テーマのみの参加も可能です)  
申込方法 Webサイト( <http://www.deloitte.com/jp/semi2481> )よりお申込み下さい。

本セミナー申込に際しては、株式会社シャノンのサービスを利用しています。

ご回答いただく内容は、SSL暗号化通信により内容の保護を図っております。

お申込みは1名様ずつのご登録が必要となります。

過去に当グループ各社のセミナーにお申込みいただいた方、または現在デロイト トーマツ グループメールマガジンをご購読いただいている方は、ご登録済みのID・パスワードで簡単にお申込みいただけます。受講案内お受け取り後、マイページより受講票をダウンロードいただき、セミナー当日にお持ちください。

セミナー会場 有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所6階 研修室

住所:大阪市中央区今橋4丁目1番1号 淀屋橋三井ビルディング



<アクセス>

地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅 10番出口直結

京阪本線 淀屋橋駅 3番出口から徒歩1分

地下鉄四つ橋線 肥後橋駅 5-A出口から徒歩6分

お問い合わせ 有限責任監査法人トーマツ

経理ベーシックスキル養成講座 事務局 担当:武田/中嶋

TEL:06-4560-6006 Email:kansai\_seminar\_jimukyoku@tohmatu.co.jp

お申し込みの際の注意事項

本講座にお申込みいただく際には下記ご確認、ご同意の上お申込み下さい。

1. 受講者は、提供物について、善良なる管理者の注意業務をもって使用・保管・管理するものとする。
2. 受講者は、提供物を第三者に譲与または販売をしてはならないものとする。
3. 定員になり次第締め切りとさせていただきますので、ご注意下さい。
4. ご入金後のキャンセルはお受けできかねますのでご了承ください。

デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそのグループ法人(有限責任監査法人 トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、税理士法人トーマツおよびDT 弁護士法人を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、法務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約40都市に約7,900名の専門家(公認会計士、税理士、弁護士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト([www.deloitte.com/jp](http://www.deloitte.com/jp))をご覧ください。

Deloitte (デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド("DTTL")ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または"Deloitte Global")はクライアントへのサービス提供を行いません。DTTL およびそのメンバーファームについての詳細は [www.deloitte.com/jp/about](http://www.deloitte.com/jp/about) をご覧ください。

## 今後の開催予定のテーマ及び概要一覧

### アドバンスコース 5テーマ

分類	テーマ / 概要	日程(2015年)
会計処理	<b>税効果会計の実践</b> 税効果会計における重要論点である繰延税金資産の回収可能性について、スケジューリング等基準・指針等の処理を学習します。 具体的には繰延税金資産の回収可能性について、回収の意義、回収可能性の検討の基本的な考え方、回収可能性の検討手順、回収可能性の見直しに加えて、有価証券、役員退職引当金まで言及します。	11月4日(水)
会計処理	<b>固定資産の減損会計の実践</b> 減損会計の手順で最終段階にある認識・測定の実務処理について、回収可能額の算定等基準・指針等の処理を学習していきます。 具体的には減損会計の手順に即し、将来キャッシュ・フローの見積計算、割引率の捉え方、減損損失の資産グループへの配分の他に、のれんの減損処理、グルーピングの注意点や本社費の配賦にまで言及します。	11月11日(水)
決算制度全般	<b>連結決算 の実践</b> 連結決算における重要論点である連結の範囲・資本連結について、基準・指針等の処理を学習します。具体的には連結の範囲については、所有割合、判定手順を学習します。資本連結については、開始仕訳、取得、売却、子会社の増減資まで言及します。	12月2日(水)
決算制度全般	<b>連結決算 の実践</b> 連結決算における重要論点である在外子会社の財務諸表項目の換算、債権債務の消去・未実現損益の消去において、基準・指針等及び実務上の配慮点について学習します。 具体的には、在外子会社の財務諸表項目の換算処理を、換算の基本的な考え方である「外貨取引等会計処理基準」を踏まえて学習します。債権債務及び未実現損益の消去については、具体的な科目別(貸倒引当金、棚卸資産、固定資産等)の会計処理基準の他、消去対象額の確定に関する実務的なポイントにも言及いたします。	12月9日(水)
決算制度全般	<b>連結キャッシュ・フロー 計算書作成の実践</b> キャッシュ・フロー計算書のうち、連結に関する論点と、キャッシュ・フロー計算書の作成に役立つキャッシュ・フロー精算表の作成まで、ワークショップをベースに基準・指針等の処理について学習します。 具体的には、連結の範囲の変動の取り扱い、少数株主持分、持分法適用会社からの配当金、未実現損益・存外子会社の為替差額等連結固有の取扱いまで言及します。	12月16日(水)

日程については、都合により変更する場合がございますので、ご了承くださいませようお願いいたします。